

平成30年度の一般会計は、前年度比1億6,300万円減少

平成30年度一般会計予算額は、前年度比1億6,300万円減の354億6,200万円、歳出の伸び率は△0.5%となりました。予算科目別に見た前年度予算額との比較では、土木費が前年度比2億9,322万5千円、7.8%の減少となった一方、教育費が3億1,952万3千円、7.4%の増加となっています。

平成30年度の事業の一部を紹介

広報関係費

(予算額) 2,908 万円



広報たじみを36ページに増やすほか、ホームページやフェイスブック、インスタグラム等を活用し、市政情報をより的確に伝えます。

(仮称)小泉交流センター建設事業費

(予算額) 6,187 万円



老朽化した大原児童館を地元の資金を活用して、地元施設を併設した複合施設として建設します。平成32年度供用開始予定です。

予防接種費

(予算額) 2億5,977 万円



定期予防接種の安全で確実な接種体制を整えます。また、小児インフルエンザワクチン任意接種費用の一部助成を新たに開始します。

三の倉センター大規模整備費

(予算額) 3億5,221 万円



平成29年度に引き続き、三の倉センター焼却施設の長寿命化を図るための改良工事を行います。(平成31年度まで)

陶産地地場産業販路拡張対策費

(予算額) 1,649 万円



見本市への出展等の支援のほか、美濃焼タイル施工補助金の創設により、住宅や店舗へのタイルの使用を促し、多治見らしさを醸成します。

橋りょう長寿命化事業費

道路施設点検事業費 (予算額) 1億7,216 万円



橋梁長寿命化修繕計画に基づき、天王橋、豊岡橋、田代橋の長寿命化工事と市が管理する橋梁20橋の法定点検を実施します。

自動車購入費

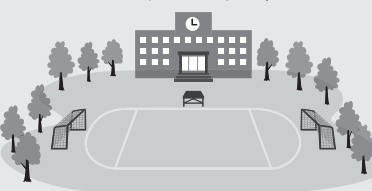
(予算額) 1億9,968 万円



南消防署に配備している35mのはしご付消防自動車を更新します。この車両は、有事の際には要請に応じて国内の被災地へ出動します。

小泉小学校建替事業費

(予算額) 8,859 万円



小泉小学校の建て替えに伴い、平成30年度は実施設計業務委託とグリーンパーク造成工事を行います。平成33年竣工予定です。

体育館施設整備費

(予算額) 4億2,204 万円



防災機能の充実と利用者の利便性向上のため、第1競技場天井や床、壁面、トイレ等の改修や空調機の取り付けを行います。

各委員会の委員長報告は3月22日に行われ、その様子はインターネットでご覧いただけます。
(本会議インターネット配信アドレス <http://smart.discussvision.net/smart/tenant/tajimi/WebView/rd/council.html>)
また、各委員会の質疑の詳細は、議会事務局のほか、インターネットの委員会会議録でご覧いただけます。
(会議録検索アドレス <http://www.kaigiroku.net/kensaku/tajimi/tajimi.html>)

予算審査質疑

3月22日の総務常任委員会、5日の経済建設常任委員会、7日の厚生環境教育常任委員会における平成30年度一般会計予算に関する質疑から、一部をご紹介します。

問 姉妹都市であるテラホート市との交流事業は、どうなっているのか。

答 平成29年度は多治見市が受け入れる予定であったが、実現しなかった。テラホート市によれば、平成30年度も派遣は困難とのことであるが、平成31年度には何とか受け入れ事業を再開したいと考えている。



平成28年度の派遣の様子

問 東美濃ナンバー導入に関する経緯と今後の方針は。

答 今回の東美濃ナンバー導入に向けた動きは、商工会議所の主導で始まった。この意味は、6市1町という大きな単位で地域を盛り上げていく、行政主導ではなく民間の大きな動きから始まったということである。

岐阜ナンバーに愛着がある、東美濃という言葉はいまひとつであるなどの意見があることは十分承知しているが、東美濃ナンバー実現協議会としては、いろいろの手続きを踏む中で、アンケートを行い、周知活動も行ってきたので、これからも続けていくことになる。

問 東美濃ナンバーを導入することが目的ではなく、この地域を盛り上げるために必要な手段と考えているため、この東美濃ナンバーの導入にどういう意味があるかを丁寧に説明していかなければならないと考えている。

答 近年の好景気で民間の採用が非常に旺盛である。その影響から、多治見市を含む自治体への応募者数が少なく、非常に厳しい状況が何年も続いている。そこで、平成29年度は試験時期の前倒し、公務員試験独特の問題からの変更、追加募集などを行い、その結果、昨年度と比較して全職種の平均で3倍以上の応募があった。しかし、一部職種については人材確保ににくい状況が続いている。新年度は、日程の設定等により平成29年度よりもさらに多い受験者を見込んで、予算を計上しているところである。

問 多治見市の人材確保のための採用計画と予算への反映は。

答 東濃5市の東濃ぐるりん観光実行委員会を中心に行っているNHKの朝の連続テレビ小説「半分、青い。」を活用したPRの内容は。

答 「半分、青い。」を活用したPR事業は、メイン撮影地である恵那市が中心になって進めていく。例えば、4月7日、8日には、JR名古屋駅で観光展を行う予定である。そのほか、ツーリズムエキスポや旅まつり等のイベントへの出展、広告掲載やパンフレットの作成などを計画している。

問 今後、多治見市としては、交差点改良をラウンドアバウト(環状交差点)方式で行っていく方針か。

答 コストや交通量などを勘案した上で、ラウンドアバウトが信号交差点より適切であると判断した場合に導入することを考えている。導入を予定している若松町の交差点については、今まで信号交差点を計画していたが、なかなか用地買収ができなかったため進んでいなかった。検討を行った結果、用地費が信号交差点の場合の約3分の1になるということもあり、ラウンドアバウトを採用することに決めた。

問 駅南市街地再整備事業の最終的なオープン時期が1年3カ月延びたことで、ますます予算がかかるのではないか。

答 今、東京オリンピックの関係で工事費がかなり高騰し、高止まりしている。オープンを1年3カ月延長するのは、その鎮静化を待つ有利な状況で特定業務代行者を決めることにより、工事費を抑制するためである。

修正案を否決

3月22日に、森厚議員と山口真由美議員から、平成30年度一般会計予算に關し、修正案が提出されました。内容は、総務費のうち東美濃ナンバー導入関係費を削り、同額を予備費に付け替えるものです。質疑の後、採決を行い、反対多数で否決されました。

附帯決議を可決

3月22日に、佐藤信行議員から、平成30年度一般会計予算に関する附帯決議を求める動議が提出されました。質疑の後、採決を行い、賛成多数で可決されました。内容は、次のとおりです。

附帯決議
議第27号 平成30年度多治見市一般会計予算に対する付帯決議案
東美濃ナンバー導入関係費について
国から申請延長が認められた場合、「東美濃ナンバー実現協議会」への多治見市負担金の支出にあたっては、ナンバー導入の周知に努めたうえで、市民の合意形成が図られたと客観的に判断できる状況にある事。
以上要望する。
(原文のとおり)